

いまもあしたも誇れる座間であるために…

発行者：おぎはら健司  
メールアドレス：info@ogiharakenji.com  
連絡先：042-719-4972 (ファックスも同じ)

# おぎはら健司の市政レポート

## 平成29年第四回定例会

本当に久しぶりのレポートとなりました。衆院選や会派の視察など、言い訳になりますが様々な行事が重なり、二ヶ月ぶりのレポートです。

11月24日に始まった平成29年第四回定例会ですが、今回は一般質問を行いました。

項目は大きく分けて①郷土愛を深める取組み②ひまわりを活用した取組み③健康増進に向けた取組み、の三点について質問をしました。

①は、座間音頭を小学校教育で取り入れる事で、郷土愛を深めようという内容で、6月の議会で行った質問の続編です。②は、ひまわり祭りや、本年度初めて行った「ひまわり咲かせようプロジェクト」などを拡大して、ひまわりによるまち起こしを推進しようという考え。③は、主として口腔環境を向上させ、健康増進に繋げようというものです。

今後は、特に③について積極的に提言をして行こうと考えておりますが、簡単に説明すると歯科衛生士などを市職員として採用し、市民がいつでも歯や口腔衛生などの相談を出来るよう体制を整えるべきと言うものです。

皆さんが歯について相談するとなると、歯が痛むので歯科医院へ通院し、その際に相談をするということになるかと思いますが、結果的には痛い箇所を治療して終わり、というケースが多いのではないのでしょうか？

どうしても歯科医院では、会話を通じてのコミュニケーションが取りにくく（口を開けたまま治療を受けますから当然ですが）、結果的に意思疎通や意見交換が出来にくいケースがほとんどではないか、と考えられる事から、市の窓口で相談場所を用意することで、口腔内から健康を増進させていこうという提案です。

特にご高齢の方々は、口腔環境の軽微な異常から、食欲が減退し筋肉の衰えや骨への悪影響など、身体への影響が出る「オーラルフレイル」

と呼ばれる状態に陥るケースが多く見られるようで、これを未然に防ぐため、口腔環境を維持・向上させるための取組みを実現すべく、今後は積極的に提案して参りたいと思います。

## 異文化交流の拡大を！

今回の定例会で上程された補正予算では、教育部が所管する予算として30万円弱ですが増額計上されていますが、市内小学生と座間キャンプ内小学生による国際交流を推進するための予算です。

去る10月26日に、キャンプ座間内にあるアーン小学校の生徒が市立栗原小学校を訪れ、第一回となる国債交流会が開催されました。

アーン小学校から5・6年生およそ100名が来訪され、栗原小学校は1年生から5年生までの児童が参加し、合唱や山形県の民謡「花笠音頭」や北海道の民謡「ソーラン節」などの踊りを披露し歓迎したとの事です。

また、栗原小学校では、三年生が独楽回しや折り紙、綾取りなど日本の昔遊びを教え、共に活動する時間を過ごし、両小学校の児童が生き生きと活動する時間を共有したそうです。

小学校三年生というと、来年度から外国語活動で英語を学習しますが、「もっと英語を話せたら、遊び方を詳しく教えられるのに！」といった発言もみられるなど、英語を学ぼうとする意欲を高められる取組みとなったとの事です。

今回の補正予算は、次なる取組みとして栗原小学校の児童がキャンプ座間内にあるアーン小学校へ訪問するための大型バスを借り上げるためのもの予算措置で、今後は市内の他の小学校にも広げていき、更なる国際交流を図っていくとの事で、米軍基地が所在する事を「貴重な資源、貴重な機会」として捉え、更なる積極的な交流が深まる事に期待したいと思います。